

学校コード F134310109955

注3

設置年度 令和 2年度  
計画の区分： 学部の設置  
注1

届出

注2  
広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人常翔学園  
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名 課長・<sup>スエマサ ケンジ</sup>末政 賢二

電話番号 0823-70-4503  
(夜間)

e-mail HIU.Shomu@josho.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。  
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

健康科学部

<医療福祉学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	49
7. その他全般的事項	50

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人常翔学園

## (2) 大学名

広島国際大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒739-2695  
広島県東広島市黒瀬学園台555番地36

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クレ テツオ) 久禮 哲郎 (平成26年1月)	(ニシムラ ヤスシ) 西村 泰志 (令和2年7月)	任期満了により交代 (令和2年7月) (3)
学長	(ヤケヒロ マスヒデ) 焼廣 益秀 (平成27年11月)		
学部長	(タナカ ヒデキ) 田中 秀樹 (令和2年4月)		
学科長等	(コサカ テツヤ) 小坂 哲也 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)  
令和4年度に報告する内容 → (4)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
健康科学部 医療福祉学科 学士（医療福祉学）	社会学・社会福祉学関係	4 年	100 人	- 人	400 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	100人 (-) [ - ]	- [ - ]	100人 (-) [ - ]	- [ - ]	100人 (-) [ - ]	- [ - ]	0.57倍	一倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	132 (-) [ 11 ]	- [ - ]	148 (-) [ 3 ]	- [ - ]	107 (-) [ 3 ]	- [ - ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	128 (-) [ 11 ]	- [ - ]	143 (-) [ 3 ]	- [ - ]	105 (-) [ 3 ]	- [ - ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	120 (-) [ 11 ]	- [ - ]	132 (-) [ 3 ]	- [ - ]	96 (-) [ 3 ]	- [ - ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	49 (-) [ 9 ]	- [ - ]	63 (-) [ 3 ]	- [ - ]	59 (-) [ 2 ]	- [ - ]			
入学定員超過率 B/A					0.49		0.63		0.59				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	49 [9] (-)	- [-] (-)	65 [3] (1)	- [-] (-)	59 [2] (-)	- [-] (-)	令和3年度 1年次 転学部1人含む 2年次 転学部12人含む  令和4年度 2年次 転学部3人含む 転学科2人含む
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	60 [9] (-)	- [-] (-)	67 [3] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	57 [9] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	49 [ 9 ] ( - )		125 [ 12 ] ( 1 )		183 [ 14 ] ( - )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	49 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	125 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	183 人	6 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	4 人	0 人	学習意欲の低下(2人)、他の教育機関へ転学(1人)、除籍(1人)
			令和3年度	2 人	0 人	他の教育機関へ転学(1人)、除籍(1人)
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		6 人		6 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{49} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{125} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{183} = \boxed{3.27} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。









<b>&lt;介護福祉学専攻&gt;</b>	
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。	
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。	
【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位	
(小計) 15単位以上	
○オプション科目 選択科目：8単位	
(小計) 8単位以上	
○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：56単位 (「人体の構造と機能及び疾病」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「介護の基本ⅠA」2単位、「介護の基本ⅠB」2単位、「レクリエーション活動援助法」1単位、「コミュニケーション技術Ⅰ」1単位、「コミュニケーション技術Ⅱ」1単位、「家政学概論Ⅰ」2単位、「家政学演習Ⅰ(実業)」1単位、「生活支援技術Ⅰ」2単位、「生活支援技術Ⅱ」2単位、「生活支援技術Ⅲ」1単位、「介護過程Ⅰ」2単位、「介護過程Ⅱ」1単位、「介護過程Ⅲ」1単位、「介護総合演習Ⅰ」1単位、「介護総合演習Ⅱ」1単位、「介護実習Ⅰ」2単位、「介護実習Ⅱ」4単位、「発達と老化の理解」2単位、「認知症の理解」2単位、「認知症のケア」2単位、「心と体の仕組み」2単位、「医療的ケアⅠ」2単位、「医療的ケアⅡ」2単位、「医療的ケアⅢ」1単位、「生涯発達心理学」2単位) 選択科目：24 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)	
(小計) 91 単位以上	
○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。	
(合計) 124単位以上	
<b>&lt;保育福祉学専攻&gt;</b>	
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。	
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。	
【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位	
(小計) 15単位以上	
○オプション科目 選択科目：8単位	
(小計) 8単位以上	
○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：50単位 (「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの発達と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子どもの家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、「保育実習概論(1単位)」、保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位) ) 選択科目：30 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)	
(小計) 91 単位以上	
○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。	
(合計) 124単位以上	

<b>&lt;介護福祉学専攻&gt;</b>	
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。	
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。	
【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位	
(小計) 15単位以上	
○オプション科目 選択科目：8単位	
(小計) 8単位以上	
○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：56単位 (「医学概論」2単位、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」2単位、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」2単位、「高齢者福祉Ⅰ」2単位、「高齢者福祉Ⅱ」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童・家庭福祉」2単位、「介護の基本ⅠA」2単位、「介護の基本ⅠB」2単位、「レクリエーション活動援助法」1単位、「コミュニケーション技術Ⅰ」1単位、「コミュニケーション技術Ⅱ」1単位、「家政学概論Ⅰ」2単位、「家政学演習Ⅰ(実業)」1単位、「生活支援技術Ⅰ」2単位、「生活支援技術Ⅱ」2単位、「生活支援技術Ⅲ」1単位、「介護過程Ⅰ」2単位、「介護過程Ⅱ」1単位、「介護過程Ⅲ」1単位、「介護総合演習Ⅰ」1単位、「介護総合演習Ⅱ」1単位、「介護実習Ⅰ」2単位、「介護実習Ⅱ」4単位、「発達と老化の理解」2単位、「認知症の理解」2単位、「認知症のケア」2単位、「心と体の仕組み」2単位、「医療的ケアⅠ」2単位、「医療的ケアⅡ」2単位、「医療的ケアⅢ」1単位、「生涯発達心理学」2単位) 選択科目：24 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)	
(小計) 91 単位以上	
○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。	
(合計) 124単位以上	
<b>&lt;保育福祉学専攻&gt;</b>	
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。	
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。	
【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位	
(小計) 15単位以上	
○オプション科目 選択科目：8単位	
(小計) 8単位以上	
○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：50単位 (「社会福祉の原理と政策Ⅰ」2単位、「保育原理」1単位、「教育原理」2単位、「児童・家庭福祉」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子どもの発達と安全」1単位、「子どもの家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、「保育実習概論(1単位)」、保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位) ) 選択科目：30 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)	
(小計) 91 単位以上	
○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。	
(合計) 124単位以上	





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数						専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教准	講助	助手	准教授	講師	助教	助手			
	介護概論(介護技術を含む) 社会福祉総合実習 福祉科教育法Ⅰ 福祉科教育法Ⅱ	2・3前・後 3・4前・後 2・3前・後 2・3前・後		2	1		2	1	1						
教科及び教科の指導法に関する科目 合計(4科目)			—	0	0	8	2	0	1	0	0	0	0		
	教育原論 教育概論 教育制度論 学校教育心理学 特別支援教育論 教育課程論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法論 生徒指導論 教育相談 進路指導・キャリア教育論 教育実習(高) 教職実践演習(高)	1前・後 1前・後 2前・後 2前・後 2前・後 3前・後 3前・後 3前・後 2前・後 2前・後 3前・後 3前・後 3前・後 3前・後 3前・後 4前・後		1	2	2	2	1	1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3 兼3
教職に関する科目 合計(14科目)			—	0	0	23	0	0	1	0	0	0	0	兼6	
合計(223科目)			—	26	306	31	7	8	5	1	0	0	兼7		
卒業要件及び履修方法															

<医療福祉学専攻>

【卒業要件】  
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】  
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】  
○スタンダード科目  
必修科目：15単位

---

(小計) 15単位以上

○オプション科目  
選択科目：8単位

---

(小計) 8単位以上

○専門教育科目  
必修科目：11単位  
(「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位)  
選択必修科目：38単位  
〔「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「現代社会と福祉Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の基礎と専門職Ⅰ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「相談援助の基礎と専門職Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法Ⅱ」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅰ」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅱ」2単位、「社会保険Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「保健医療サービス」2単位、「権利擁護と成年後見制度」2単位〕

選択科目：42単位  
(「専門基礎科目」「専門科目」から42単位)

---

(小計) 91単位以上

○その他：10単位  
オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

<介護福祉学専攻>

【卒業要件】  
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】  
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】  
○スタンダード科目  
必修科目：15単位

---

(小計) 15単位以上

○オプション科目  
選択科目：8単位

---

(小計) 8単位以上

○専門教育科目  
必修科目：11単位  
(「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位)  
選択必修科目：56単位  
〔「人の構造と機能及び疾病」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「介護の基本ⅠA」2単位、「介護の基本ⅠB」2単位、「レクリエーション活動援助法」1単位、「コミュニケーション技術Ⅰ」1単位、「コミュニケーション技術Ⅱ」1単位、「家政学概論Ⅰ」2単位、「家政学演習Ⅰ(実業)」1単位、「生活支援技術Ⅰ」2単位、「生活支援技術Ⅱ」2単位、「生活支援技術Ⅲ」1単位、「介護過程Ⅰ」1単位、「介護過程Ⅱ」1単位、「介護総合演習Ⅰ」1単位、「介護総合演習Ⅱ」1単位、「介護実習Ⅰ」4単位、「発達と老化の理解」2単位、「認知症の理解」2単位、「認知症のケア」2単位、「心と体の仕組み」2単位、「医療的ケアⅠ」2単位、「医療的ケアⅡ」2単位、「医療的ケアⅢ」1単位、「生涯発達心理学」2単位〕

選択科目：24単位  
(「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)

---

(小計) 91単位以上

○その他：10単位  
オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数						専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教准	講助	助手	准教授	講師	助教	助手			
	介護概論(介護技術を含む) 社会福祉総合実習 福祉科教育法Ⅰ 福祉科教育法Ⅱ	2・3前・後 3・4前・後 2・3前・後 2・3前・後		2	1		2	1	1						
教科及び教科の指導法に関する科目 合計(4科目)			—	0	0	8	2	0	1	0	0	0			
	教育原論 教育概論 教育制度論 学校教育心理学 特別支援教育論 教育課程論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法論 生徒指導論 教育相談 進路指導・キャリア教育論 教育実習(高) 教職実践演習(高)	1前・後 1前・後 2前・後 2前・後 2前・後 3前・後 3前・後 3前・後 2前・後 2前・後 3前・後 3前・後 3前・後 3前・後 4前・後		1	2	2	2	1	1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3 兼3	
教職に関する科目 合計(14科目)			—	0	0	23	0	0	1	0	0	0	兼6		
合計(223科目)			—	26	306	31	7	8	5	1	0	0	兼7		
卒業要件及び履修方法															

<医療福祉学専攻>

【卒業要件】  
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】  
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】  
○スタンダード科目  
必修科目：15単位

---

(小計) 15単位以上

○オプション科目  
選択科目：8単位

---

(小計) 8単位以上

○専門教育科目  
必修科目：11単位  
(「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位)  
選択必修科目：38単位  
〔「**社会福祉の原理と政策Ⅰ**」2単位、「**社会福祉の原理と政策Ⅱ**」2単位、「**相談援助の理論と方法ⅠA**」2単位、「**相談援助の理論と方法ⅠB**」2単位、「**ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ**」2単位、「**相談援助の理論と方法ⅡA**」2単位、「**相談援助の理論と方法ⅡB**」2単位、「**ソーシャルワークの基礎と専門職(社会専門)**」2単位、「**地域福祉の理論と方法Ⅰ**」2単位、「**地域福祉の理論と方法Ⅱ**」2単位、「**社会保険Ⅰ**」2単位、「**社会保険Ⅱ**」2単位、「**高齢者福祉Ⅰ**」2単位、「**高齢者福祉Ⅱ**」2単位、「**障害者に対する支援と障害者自立支援制度**」2単位、「**障がいの理解**」2単位、「**児童・家庭福祉**」2単位、「**保健医療サービス**」2単位、「**権利擁護と成年後見制度**」2単位〕

選択科目：42単位  
(「専門基礎科目」「専門科目」から42単位)

---

(小計) 91単位以上

○その他：10単位  
オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

<介護福祉学専攻>

【卒業要件】  
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】  
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】  
○スタンダード科目  
必修科目：15単位

---

(小計) 15単位以上

○オプション科目  
選択科目：8単位

---

(小計) 8単位以上

○専門教育科目  
必修科目：11単位  
(「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位)  
選択必修科目：56単位  
〔「**医学概論**」2単位、「**相談援助の理論と方法ⅠA**」2単位、「**相談援助の理論と方法ⅠB**」2単位、「**高齢者福祉Ⅰ**」2単位、「**高齢者福祉Ⅱ**」2単位、「**障がいの理解**」2単位、「**児童・家庭福祉**」2単位、「**介護の基本ⅠA**」2単位、「**介護の基本ⅠB**」2単位、「**レクリエーション活動援助法**」1単位、「**コミュニケーション技術Ⅰ**」1単位、「**コミュニケーション技術Ⅱ**」1単位、「**家政学概論Ⅰ**」2単位、「**家政学演習Ⅰ(実業)**」1単位、「**生活支援技術Ⅰ**」2単位、「**生活支援技術Ⅱ**」2単位、「**生活支援技術Ⅲ**」1単位、「**介護過程Ⅰ**」1単位、「**介護過程ⅡA**」1単位、「**介護過程ⅡB**」1単位、「**介護総合演習Ⅰ**」1単位、「**介護総合演習Ⅱ**」1単位、「**介護実習Ⅰ**」4単位、「**発達と老化の理解**」2単位、「**認知症の理解**」2単位、「**認知症のケア**」2単位、「**心と体の仕組み**」2単位、「**医療的ケアⅠ**」2単位、「**医療的ケアⅡ**」2単位、「**医療的ケアⅢ**」1単位、「**生涯発達心理学**」2単位〕

選択科目：24単位  
(「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)

---

(小計) 91単位以上

○その他：10単位  
オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

<b>&lt;保育福祉学専攻&gt;</b>	
<b>【卒業要件】</b> 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。	
<b>【履修単位の上限】</b> 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。	
<b>【履修方法】</b> ○スタンダード科目 必修科目：15単位	
(小計) 15単位以上	
○オプション科目 選択科目：8単位	
(小計) 8単位以上	
○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：50単位 〔「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、「児童と家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの保健」2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子ども家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(音楽)」1単位、「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位)〕	
選択科目：30 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)	
(小計) 91 単位以上	
○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。	
(合計) 124単位以上	

<b>&lt;保育福祉学専攻&gt;</b>	
<b>【卒業要件】</b> 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。	
<b>【履修単位の上限】</b> 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。	
<b>【履修方法】</b> ○スタンダード科目 必修科目：15単位	
(小計) 15単位以上	
○オプション科目 選択科目：8単位	
(小計) 8単位以上	
○専門教育科目 必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位) 選択必修科目：50単位 〔「 <b>社会福祉の原理と実践Ⅰ</b> 」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、「 <b>児童・家庭福祉</b> 」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「 <b>児童・家庭福祉</b> 」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの保健」2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子ども家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(音楽)」1単位、「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位)〕	
選択科目：30 単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)	
(小計) 91 単位以上	
○その他：10単位 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。	
(合計) 124単位以上	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と前年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。



(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教育内容の充実を図るため「チュートリアル」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師2、助教1」から「教授2、准教授2、講師3、助教1」に変更。(上原 千寿子専任教授、梅田 弘子専任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2、講師1」に変更。(渡辺 晴子専任准教授、三吉 愛子専任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授3」に変更。(アンドレアス シェラー専任准教授、長澤 真由子専任准教授 増)
- ・教育内容の充実を図るため「地域創生と危機管理」の教員等の配置を「准教授1、兼6」から「准教授1、兼13」に変更。(岡田 大輝兼担教授、寺重 隆視兼担教授、梅 林兼担教授、井山 慶信兼担講師、大澤 弘典兼担講師、吉川 興兼任教授、久次 弘子兼任教授 増)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実習Ⅰ」の教員等の配置を「兼9」から「兼10」に変更。(岡本 昌規兼担講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「検定英語」の教員等の配置を「兼1」から「教授1、兼1」に変更。(角山 照彦専任教授 増)
- ・講記により「人間と文化」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・講記により「教養ゼミ」の教員等の配置を「教授1、講師1、兼6」から「教授1、准教授1、兼6」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため「介護総合演習Ⅰ」の教員等の配置を「教授1、講師2」から「教授2、講師2、兼1」に変更。(飯野 矢住代専任教授、久保田 トミ子兼任教授 増)
- ・教育内容の充実を図るため「介護実習Ⅰ」の教員等の配置を「教授1、講師2」から「教授2、講師2、兼1」に変更。(飯野 矢住代専任教授、久保田 トミ子兼任教授 増)
- ・教育内容の充実を図るため「保育内容演習Ⅴ(表現)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。(正司 強准教授 増)
- ・教育内容の充実を図るため「国際医療福祉演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。(アンドレアス シェラー専任准教授 増)
- ・講記によりオリポシオン科目合計の講師職を「1」から「0」に、兼任・兼担職を「兼41」から「兼29」に変更。

【令和3年度】

- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2、講師1」から「准教授3、講師1」に変更。(正司 強専任准教授、杉本 巧専任准教授 増、渡辺 晴子専任准教授 減)
- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「教授1、准教授2」に変更。(赤井 俊専任教授、杉本 巧専任准教授 増、長澤 真由子専任准教授、山口 真里専任准教授 減)
- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」に変更。(アンドレアス シェラー専任准教授、池田 明子専任講師 増、長谷部 隆一専任准教授 減)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実習Ⅰ」の教員等の配置を「兼9」から「兼10」に変更。(藤本 隆弘兼任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実習Ⅱ」の教員等の配置を「兼8」から「兼9」に変更。(奥田 祐子兼任講師 増)
- ・任期満了による退職に伴い「保健医療サービス」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。(田川 雄一助教 増、上原 千寿子専任教授 減)
- ・任期満了による退職に伴い「介護マスタシナジー」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。(長澤 真由子専任准教授 増、久保田 トミ子兼任教授 減)
- ・任期満了による退職に伴い「コミュニケーション技術Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。(長澤 真由子専任准教授 増、上原 千寿子専任教授 減)
- ・教育内容の充実を図るため「生活支援技術Ⅰ」の教員等の配置を「講師1」から「講師1、兼1」に変更。(杉山 千春兼任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「生活支援技術Ⅱ」の教員等の配置を「講師1」から「講師1、兼1」に変更。(杉山 千春兼任講師 増)
- ・任期満了による退職に伴い「介護総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、講師2、兼1」から「教授1、講師2」に変更。(上原 千寿子専任教授、久保田 トミ子兼任教授 減)
- ・任期満了による退職に伴い「介護実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、講師2、兼1」から「教授1、講師2」に変更。(上原 千寿子専任教授、久保田 トミ子兼任教授 減)
- ・任期満了による退職に伴い「医療的ケアⅠ」「医療的ケアⅡ」「医療的ケアⅢ」の専任教員等の配置を「講師、兼1」から「講師1」に変更。(久保田 トミ子兼任教授 減)
- ・担当科目の見直しにより「保育実習概論」の専任教員等の配置を「教授3、講師2」から「教授1、准教授1、講師2」に変更。(西村 いつみ専任准教授 増、小坂 哲也専任教授、田野 慎二専任教授 減)
- ・担当科目の見直しにより「保育実習指導Ⅰ-1(保育所)」の専任教員等の配置を「教授3、講師2」から「教授1、准教授1、講師2」に変更。(西村 いつみ専任准教授 増、小坂 哲也専任教授、田野 慎二専任教授 減)
- ・担当科目の見直しにより「保育実習Ⅰ-1(保育所)」の専任教員等の配置を「教授3、講師2」から「教授1、准教授1、講師2」に変更。(西村 いつみ専任准教授 増、小坂 哲也専任教授、田野 慎二専任教授 減)
- ・教育内容の充実を図るため「ウェルネスビジネス論Ⅰ」の教員等の配置を「講師1」から「准教授1、講師1、助教1、兼1」に変更。(正司 強専任准教授、田川 雄一専任助教、田中 秀樹兼担教授 増)
- ・教育内容の充実を図るため「ウェルネスビジネス論Ⅱ」の教員等の配置を「講師1」から「准教授1、講師1、助教1、兼1」に変更。(正司 強専任准教授、田川 雄一専任助教、田中 秀樹兼担教授 増)
- ・昇格による職員の更ならびに教育内容の充実を図るため「専門演習ⅠA」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5、講師4」から「教授4、准教授5、講師5」に変更。(飯野 矢住代専任教授、西村 いつみ専任准教授、光盛 友美専任講師 増、長谷部 隆一専任准教授を教授に変更)
- ・昇格による職員の更ならびに教育内容の充実を図るため「専門演習ⅠB」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5、講師4」から「教授4、准教授5、講師5」に変更。(飯野 矢住代専任教授、西村 いつみ専任准教授、光盛 友美専任講師 増、長谷部 隆一専任准教授を教授に変更)
- ・社会福祉士介護福祉士学校指定規則等の変更による科目名の変更。(「現代社会と福祉Ⅰ、現代社会と福祉Ⅱ、人体の構造と機能及び疾病、相談援助の基盤と専門職Ⅰ、相談援助の基盤と専門職Ⅱ、高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ、高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ、児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、社会理論と社会システム」から「社会福祉の原理と政策Ⅰ、社会福祉の原理と政策Ⅱ、医学概論、ソーシャルワークの基盤と専門職、ソーシャルワークの基盤と専門職(社会専門)、高齢者福祉Ⅰ、高齢者福祉Ⅱ、児童・家庭福祉、社会学と社会システム」に変更)
- ・昇格による職員の更ならびに「精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠA」「精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠB」「精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA」「精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB」「精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ」「精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ」「精神保健福祉援助演習Ⅰ」「精神保健福祉援助演習Ⅱ」「精神保健福祉援助演習Ⅲ」「精神保健福祉援助演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。(長谷部 隆一准教授を教授に変更)
- ・任期満了による退職ならびに昇格による職員の更に伴い「総合福祉論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授6、講師2、助教1、兼1」から「教授3、准教授5、講師2、助教1」に変更。(長谷部 隆一准教授を教授に変更、久保田 トミ子兼任教授 減)
- ・昇格による職員の更に伴い「専門演習ⅡA」「専門演習ⅡB」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5、講師4」から「教授3、准教授4、講師4」に変更。(長谷部 隆一准教授を教授に変更)
- ・自己都合による退職ならびに昇格による職員の更に伴い「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授5、講師4」から「教授3、准教授4、講師4」に変更。(長谷部 隆一准教授を教授に変更、上原 千寿子専任教授 減)

【令和4年度】

- ・退職および担当科目の見直しにより「チュートリアル」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師3、助教1」から「教授3、准教授2、講師1、助教1」に変更。  
(田野 慎二専任教授 増、三吉 愛子専任教授 増、長澤 真由子専任教授、三吉 愛子専任講師、梅田 弘子専任講師 減)
- ・退職および担当科目の見直しにより「専門職連携基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3、講師1」から「教授1、准教授2」に変更。  
(小坂 哲也教授 増、杉本 巧専任教授、三吉 愛子専任講師 減)
- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」に変更。  
(小坂 哲也教授 増、杉本 巧専任教授 減)
- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1、助教1」に変更。  
(アノビト ショウロ専任教授、田川 雄一専任助教 増、梅田 弘子専任講師 減)
- ・教員の所属学部変更に伴い「地域創生と危機管理」の専任教員等の配置を「准教授1、兼13」から「教授1、准教授1、兼12」に変更。  
(岡田 大爾専任教授 増、岡田 大爾兼任教授 減)
- ・担当科目の見直しにより「スポーツ実習Ⅰ」の教員等の配置を「兼10」から「兼9」に変更。  
(岡本 昌規兼任講師 減)
- ・教員の所属学部変更に伴い「科学実験Ⅱ」の教員等の配置を「兼4」から「教授1、兼3」に変更。  
(岡田 大爾専任教授 増、岡田 大爾兼任教授 減)
- ・教育内容の充実を図るため「Reading & Writing」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。  
(大原 美智恵兼任講師 増)
- ・担当科目の見直しにより「教養ゼミ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、兼6」から「教授1、准教授1、兼5」に変更。  
(橋本 学兼任教授 減)
- ・社会福祉士介護福祉士学校指定規則等の変更により科目名を変更。(「社会調査の基礎、相談援助の理論と方法ⅠA、相談援助の理論と方法ⅠB、相談援助の理論と方法ⅡA、相談援助の理論と方法ⅡB、地域福祉の理論と方法Ⅰ、障害者に対する支援と障害者自立支援制度、保健医療サービス、社会福祉援助技術演習Ⅰ、社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ、社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」から「社会福祉調査の基礎、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ、ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ、ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ、ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ、ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習指導(社会専門)Ⅰ、ソーシャルワーク実習(社会専門)Ⅰ」に変更)。科目変更に伴い、配当年度および単位数を変更(「ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習指導(社会専門)Ⅰ、ソーシャルワーク実習(社会専門)Ⅰ」)。
- ・担当科目の見直しにより「社会福祉の原理と政策Ⅰ」「社会福祉の原理と政策Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。  
(仁志田 訓司兼任講師 増、岡本 晴美専任教授 減)
- ・担当科目の見直しにより「社会福祉の理論と方法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。  
(田川 雄一専任助教 増、山口 真里専任教授 減)
- ・教育内容の充実を図るため「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。  
(岡本 晴美専任教授 増)
- ・担当科目の見直しにより「ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。  
(長澤 真由子専任教授 増、岡本 晴美専任教授 減)
- ・教育内容の充実を図るため「ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。  
(岡本 晴美専任教授 増)
- ・自己都合による退職により「社会保障Ⅰ」「社会保障Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更。  
(河村 隆史兼任講師 増、川崎 竜太専任講師 減)
- ・自己都合による退職により「高齢者福祉Ⅰ」「高齢者福祉Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更。  
(佐々木 新兼任講師 増、川崎 竜太専任講師 減)
- ・自己都合による退職により「低所得者に対する支援と生活保護制度」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更。  
(河村 隆史兼任講師 増、川崎 竜太専任講師 減)
- ・自己都合による退職および担当科目の見直しにより「精神保健福祉援助演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更。  
(長谷部 隆一専任教授 増、川崎 竜太専任講師 減)
- ・担当科目の見直しにより「ソーシャルワーク演習」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3、助教1」から「准教授3、助教1」に変更。  
(西村 いつみ専任教授 増、岡本 晴美専任教授、長澤 真由子専任教授 減)
- ・自己都合による退職および担当科目の見直しにより「ソーシャルワーク実習指導(社会専門)Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3、講師1、助教1」から「准教授2、助教1、兼1」に変更。  
(隅原 聖子兼任講師 増、長澤 真由子専任教授、川崎 竜太専任講師 減)
- ・自己都合による退職および担当科目の見直しにより「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ」「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授3、講師1、助教1」から「准教授2、助教1」に変更。  
(河村 隆史兼任講師、久保田 秀樹兼任講師、隅原 聖子兼任講師 増、長澤 真由子専任教授、川崎 竜太専任講師 減)
- ・自己都合による退職および担当科目の見直しにより「ソーシャルワーク実習(社会専門)Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3、講師1、助教1」から「准教授2、助教1、兼1」に変更。  
(隅原 聖子兼任講師 増、長澤 真由子専任教授、川崎 竜太専任講師 減)
- ・教育内容の充実を図るため「精神保健福祉援助演習Ⅰ」「精神保健福祉援助演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼1」に変更。  
(光岡 美里兼任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。  
(田川 雄一専任助教 増)
- ・教育内容の充実を図るため「精神保健福祉援助実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1、兼2」に変更。  
(田川 雄一専任助教、河村 隆史兼任講師、光岡 美里兼任講師 増)
- ・教員の所属学部変更により「発達と老化の理解」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。  
(梅田 弘子専任講師 増、飯野 矢代専任教授 減)
- ・教員の所属学部変更により「認知症ケア」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。  
(池田 明子専任講師 増、飯野 矢代専任教授 減)
- ・教員の所属学部変更により「心と体の仕組み」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。  
(重松 義成兼任講師 増、飯野 矢代専任教授 減)
- ・教員の所属学部変更により「介護の基本ⅠA」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。  
(池田 明子専任講師 増、飯野 矢代専任教授 減)
- ・担当科目の見直しにより「介護マネジメント論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。  
(山村 昌幸兼任講師 増、長澤 真由子専任教授 減)
- ・担当科目の見直しにより「生活支援技術Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師1、兼1」から「講師1」に変更。  
(杉山 千春兼任講師 減)
- ・担当科目の見直しにより「生活支援技術Ⅱ」「生活支援技術Ⅳ」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更。  
(津村 弘子兼任講師 増、梅田 弘子専任講師 減)
- ・教員の所属学部変更により「介護総合演習Ⅰ」「介護総合演習Ⅱ」「介護総合演習Ⅲ」「介護実習Ⅰ」「介護実習Ⅱ」「介護実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1、講師2」から「准教授1、講師2」に変更。  
(長澤 真由子専任教授 増、飯野 矢代専任教授 減)
- ・教員の所属学部変更により「介護予防と終末期ケア」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。  
(重松 義成兼任講師 増、飯野 矢代専任教授 減)
- ・自己都合による退職により「保育原理」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更。  
(井辺 和杜兼任講師 増、三吉 愛子専任講師 減)
- ・担当科目の見直しにより「保育者論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。  
(津川 典子兼任講師 増、西村 いつみ専任教授 減)
- ・自己都合による退職により「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更。  
(前野 さゆり兼任講師 増、三吉 愛子専任講師 減)
- ・教育内容の充実のため「保健実習Ⅱ(健康)」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。  
(正司 強専任教授 増、渡邊 真帆兼任講師 減)
- ・自己都合による退職により「乳児保育Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更。  
(津川 典子兼任講師 増、三吉 愛子専任講師 減)
- ・自己都合による退職により「乳児保育Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更。  
(前野 さゆり兼任講師 増、三吉 愛子専任講師 減)
- ・自己都合による退職および教育内容の充実を図るため「障がい児保育」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。  
(西村 いつみ専任教授 増、三吉 愛子専任講師 減)
- ・担当科目の見直しにより「保育内容の理解と方法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授1、兼1」に変更。  
(小坂 謙代兼任講師 減)
- ・自己都合による退職により「保育実習概論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師2」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。  
(三吉 愛子専任講師 減)
- ・自己都合による退職により「保育実習指導Ⅰ-1(保育所)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師2」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。  
(三吉 愛子専任講師 減)
- ・自己都合による退職および担当科目の見直しにより「保育実習指導Ⅰ-2(施設)」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、講師2」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。  
(西村 いつみ専任教授 増、小坂 哲也専任教授、田野 慎二専任教授、三吉 愛子専任講師 減)
- ・自己都合による退職により「保育実習Ⅰ-1(保育所)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師2」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。  
(三吉 愛子専任講師 減)
- ・自己都合による退職および担当科目の見直しにより「保育実習Ⅰ-2(施設)」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅲ」「保育実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、講師2」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。  
(西村 いつみ専任教授 増、小坂 哲也専任教授、田野 慎二専任教授、三吉 愛子専任講師 減)
- ・自己都合による退職および教育内容の充実を図るため「社会福祉総論Ⅰ」「社会福祉総論Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更。  
(岡本 晴美専任教授 増、川崎 竜太専任講師 減)
- ・自己都合による退職により「総合福祉論」の専任教員等の配置を「教授3、准教授5、講師2、助教1」から「教授3、准教授5、講師1、助教1」に変更。  
(川崎 竜太専任講師 減)
- ・自己都合による退職および担当科目の見直しにより「ウェルネスビジネス論Ⅰ」「ウェルネスビジネス論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、助教1、兼1」から「准教授1、助教1、兼4」に変更。  
(荒川 雅志兼任講師、島内 憲夫兼任教授、久次 弘子兼任教授 増、川崎 竜太専任講師 減)
- ・自己都合による退職および所属学部変更により「専門演習ⅠA」「専門演習ⅠB」の専任教員等の配置を「教授3、准教授5、講師5」から「教授3、准教授5、講師3」に変更。  
(飯野 矢代専任教授、川崎 竜太専任講師、三吉 愛子専任講師 減)
- ・自己都合による退職により「専門演習ⅡA」「専門演習ⅡB」の専任教員等の配置を「教授3、准教授4、講師4」から「教授3、准教授5、講師3」に変更。  
(西村 いつみ専任教授、光盛 友美兼任講師 増、川崎 竜太専任講師、三吉 愛子専任講師 減)
- ・自己都合による退職により「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授4、講師4」から「教授3、准教授4、講師2」に変更。  
(川崎 竜太専任講師、三吉 愛子専任講師 減)
- ・所属学部変更により「介護概論(介護技術を含む)」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。  
(池田 明子専任講師 増、飯野 矢代専任教授 減)
- ・自己都合による退職により「社会福祉総合実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「助教1」に変更。  
(田川 雄一専任助教 増、川崎 竜太専任講師 減)
- ・自己都合による退職および教育内容の充実を図るため「福祉科教育法Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更。  
(岡本 晴美専任教授 増、川崎 竜太専任講師 減)
- ・教員の所属学部変更により「教育課程論」「特別活動の指導法」「教育方法論」「生徒指導論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。  
(岡田 大爾兼任講師 増、岡田 大爾兼任教授 減)
- ・自己都合による退職および所属学部変更、教育内容の充実を図るため「教育実習Ⅰ、兼3」の専任教員等の配置を「講師1、兼3」から「教授2、兼2」に変更。  
(岡田 大爾専任教授、岡本 晴美専任教授 増、川崎 竜太専任講師 減)
- ・自己都合による退職および所属学部変更、教育内容の充実を図るため「教職実践演習(高)」の専任教員等の配置を「講師1、兼3」から「教授2、兼2」に変更。  
(岡田 大爾専任教授、岡本 晴美専任教授 増、川崎 竜太専任講師 減)

(注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年度の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし」と記入してください。  
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。



(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	183 科目	18 科目	223 科目	22 科目 [ 0 ]	183 科目 [ 0 ]	18 科目 [ 0 ]	223 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{223} = \boxed{\phantom{00}}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	213,334.58㎡	0㎡	0㎡	213,334.58㎡	借用面積： 1,460.88㎡		
	運動場用地	185,687.51㎡ <del>189,896.36㎡</del>	0㎡	0㎡	185,687.51㎡ <del>189,896.36㎡</del>	1,896.32㎡ 2,384.69㎡		
	小 計	399,022.09㎡ 403,230.94㎡	0㎡	0㎡	399,022.09㎡ 403,230.94㎡	借用期間：30年 (平成20年以來継続)		
	そ の 他	6,515.89㎡	0㎡	0㎡	6,515.89㎡	運動場用地売却のため。(2)		
合 計	405,537.98㎡ 409,746.83㎡	0㎡	0㎡	405,537.98㎡ 409,746.83㎡				
(2) 校 舎	専 用	116,024.62㎡ 117,137.07㎡ ( 116,024.62㎡ ) ( 117,137.07㎡ )	0㎡	0㎡	116,024.62㎡ 117,137.07㎡ ( 116,024.62㎡ ) ( 117,137.07㎡ )	登記上面積の誤差のため(2)		
	共 用							
(3) 教 室 等	講 義 室	86室 94室	演 習 室 419室 453室	実験実習室 262室 277室	情報処理学習施設 8室 11室 (補助職員 人)	語学学習施設 0室 (補助職員 人)	キャンパス集約に伴う変更。設置 学部では使用しない部屋であり、 教育・研究に支障はない。(2)	
	専任教員研究室	新設学部等の名称 健康科学部 医療福祉学科		室 数 18 21		室	退職による減。(4)	
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 ・図書 201,734冊 189-403冊 189-189冊 196-681冊 〔30,150冊〕 〔20,114冊〕 〔20,118冊〕 〔20,198冊〕 共用分PC関係洋図書除籍による減。このこと に伴う教育・研究への支障はない。(2) 洋図書の減は、書水撤管を被った洋図書の除 籍による。このことに伴う教育・研究への支 障はない。(3) 教育研究環境充実のため。(4) ・学術雑誌 1,121種 1-110種 21-265種 〔471種〕 〔429種〕 〔9,626冊〕 冊数一種数に変更(2) 洋雑誌減、種数修正のため(3) 東広島キャンパスでの共用分 ・電子ジャーナル 28種〔7種〕 11種〔14冊〕 内分電子ジャーナルの減少は他学科が購読 を取りやめたため。このことに伴う教育・研 究への支障はない。(4) 【図書】 学科図書冊数の減少は旧版図書を除籍した ため。このことに伴う教育・研究への支障は ない。(2) 【学術雑誌】 学科学術雑誌冊数の減少は書水撤管を被 りしたため。このことに伴う教育・研究への 支障はない。(3) 【学術雑誌】 学術雑誌冊数の減少は旧版図書を除籍した ため。このことに伴う教育・研究への支障は ない。(4)
	健康科学部 医療福祉学科	13,019 [1,629] <del>13,050 [1,629]</del> 12,904 [1,650] 12,949 [1,649]	82 [37] 81 [37] 26 [3]	0 [0]	332 [1] <del>328 [1]</del> 318 [1] 313	6,143 <del>6,138</del> 5,792 4,855	28 26	
	計	13,019 [1,629] 13,050 [1,629] 12,904 [1,650] 12,949 [1,649]	82 [37] 81 [37] 26 [3]	0 [0]	332 [1] <del>328 [1]</del> 318 [1] 313	6,143 <del>6,138</del> 5,792 4,855	28 26	
		(13,019 [1,629]) <del>(13,050 [1,629])</del> (12,904 [1,650]) (12,949 [1,649])	(82 [37]) (81 [37]) (26 [3])	(0 [0])	(332 [1]) <del>(328 [1])</del> (318 [1]) (313)	(6,143) <del>(6,138)</del> (5,792) (4,849)	(28) (26)	
(6) 図 書 館	面 積	開 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	3,621.31㎡	507 635		253,643 244,195				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	5,550.52㎡	第2練習場、第3練習場、第4練習場、テニスコート 4面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員1人当り研究費等	190千円 283千円	283千円	図書購入費	9,879千円 10,663千円	8,351千円 8,495千円 10,462千円	10,236千円	
	共同研究費等	- 千円	- 千円	設備購入費	6,255千円 3,363千円	9,735千円 3,329千円	3,363千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,330千円	第2年次 1,180千円	第3年次 1,180千円	第4年次 1,180千円	第5年次 - 千円	第6年次 - 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、補助活動収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島国際大学						学生募集停止学科数	6	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
保健医療学部	4	220	-	860	-	1.08	1.03	-	平成10	-	
診療放射線学科	4	70	-	280	学士 (診療放射線学)	1.19	1.05	-	平成10	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療技術学科	4	100	-	430	学士 (臨床工学) (臨床検査学)	1.00	1.03	令和2	平成25	同上	令和2年度定員変更 130→100 (△30)
臨床工学専攻 臨床検査学専攻											
救急救命学科	4	50	-	150	学士 (救急救命学)	1.10	1.02	令和2	令和2	同上	令和2年度学科設置
総合リハビリテーション学部	4	180	-	700	-	1.06	1.03	-	平成25	-	
リハビリテーション学科	4	180	-	670	学士 (理学療法学) (作業療法学)	1.08	1.03	令和2	平成25	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度定員変更 130→180 (50)
理学療法学専攻 作業療法学専攻											
言語聴覚療法学専攻 義肢装具学専攻					(言語聴覚療法学) (義肢装具学)						
リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻	4	-	-	30	学士 (義肢装具学)	-	-	-	平成25	同上	令和2年度 学生募集停止
医療福祉学部	4	-	3年次 10	110	-	-	-	-	平成10	-	
医療福祉学科	4	-	3年次 10	110	学士 (医療福祉学)	-	-	-	平成10	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止 令和4年度3年次編入学募集停止
医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻											
医療経営学部	4	-	-	90	-	-	-	-	平成23	-	
医療経営学科	4	-	-	90	学士 (医療経営学)	-	-	-	平成23	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度 学生募集停止
心理科学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成13	-	
臨床心理学科	4	-	-	-	学士 (臨床心理学)	-	-	-	平成13	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	平成27年度学生募集停止 平成29年度3年次編入学募集停止
心理学部	4	-	3年次 10	100	-	-	-	-	平成27	-	
心理学科	4	-	3年次 10	100	学士 (心理学)	-	-	-	平成27	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止 令和4年度3年次編入学募集停止
看護学部	4	120	3年次 10	500	-	1.02	1.05	-	平成15	-	
看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.02	1.05	-	平成15	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
薬学部	6	120	-	720	-	0.81	0.68	-	平成18	-	
薬学科 (6年制)	6	120	-	720	学士 (薬学)	0.81	0.68	-	平成18	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
医療栄養学部	4	-	-	60	-	-	-	-	平成26	-	
医療栄養学科	4	-	-	60	学士 (医療栄養学)	-	-	-	平成26	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	令和2年度 学生募集停止

大学の名称	広島国際大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
<b>健康科学部</b>	4	350	-	1,050	-	0.79	0.75	令和2	令和2	-	令和2年度学部設置
<b>医療福祉学科</b> 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育福祉学専攻	4	100	-	300	学士 (医療福祉学)	0.57	0.59	令和2	令和2	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
<b>医療経営学科</b>	4	90	-	270	学士 (医療経営学)	0.94	0.87	令和2	令和2	同上	
<b>心理学科</b>	4	100	-	300	学士 (心理学)	0.77	0.63	令和2	令和2	同上	
<b>医療栄養学科</b>	4	60	-	180	学士 (医療栄養学)	0.97	1.03	令和2	令和2	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
<b>健康スポーツ学部</b>	4	70	-	210	-	1.09	1.04	令和2	令和2	-	
<b>健康スポーツ学科</b>	4	70	-	210	学士 (健康スポーツ学)	1.09	1.04	令和2	令和2	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
大学全体	-	1,060	3年次 30	4,400	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	広島国際大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
看護学研究科 博士前期課程	2	10	-	20	-	0.10	0.00	-	平成15	-	
看護学専攻	2	10	-	20	修士 (看護学)	0.10	0.00	-	平成15	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
看護学研究科 博士後期課程	3	3	-	9	-	0.00	0.00	-	平成24	-	
看護学専攻	3	3	-	9	博士 (看護学)	0.00	0.00	-	平成24	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
医療・福祉科学研究科 博士前期課程	2	10	-	20	-	0.80	0.80	-	平成21	-	
医療工学専攻	2	10	-	20	修士 (医療工学)	0.80	0.80	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療・福祉科学研究科 博士後期課程	3	2	-	6	-	0.66	0.00	-	平成21	-	
医療工学専攻	3	2	-	6	博士 (医療工学)	0.66	0.00	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療・福祉科学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	0.15	0.10	-	平成21	-	
医療福祉学専攻	2	5	-	10	修士 (医療福祉学)	0.00	0.00	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療経営学専攻	2	5	-	10	修士 (医療経営学)	0.30	0.20	-	平成21	同上	
心理科学研究科 博士後期課程	3	2	-	6	-	0.00	0.00	-	平成21	-	
臨床心理学専攻	3	2	-	6	博士 (臨床心理学)	0.00	0.00	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
心理科学研究科 専門職学位課程	2	20	-	40	-	0.67	0.95	-	平成21	-	
実践臨床心理学専攻	2	20	-	40	臨床心理修士 (専門職)	0.67	0.95	-	平成21	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
薬学研究科 博士課程	4	2	-	8	-	0.12	0.50	-	平成24	-	
医療薬学専攻	4	2	-	8	博士 (薬学)	0.12	0.50	-	平成24	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
大学院全体	-	59	-	129	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	大阪工業大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
工学部	4	900	3年次 40	3,680	-	1.04	1.01	-	昭和24	-	
都市デザイン工学科	4	100	3年次 5	410	学士 (工学)	1.10	0.98	-	昭和24	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	
空間デザイン学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集 停止
建築学科	4	150	3年次 5	610	学士 (工学)	1.06	0.91	-	昭和24	同上	
機械工学科	4	140	3年次 5	570	学士 (工学)	1.00	0.91	-	昭和25	同上	
ロボット工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成22	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集 停止
電気電子システム工学科	4	125	3年次 5	510	学士 (工学)	1.06	1.09	-	昭和24	同上	
電子情報システム工学科	4	110	3年次 5	450	学士 (工学)	1.10	1.16	-	昭和34	同上	
応用化学科	4	130	3年次 5	530	学士 (工学)	0.99	1.00	-	昭和33	同上	
環境工学科	4	75	3年次 5	310	学士 (工学)	1.03	1.01	-	平成18	同上	
生命工学科	4	70	3年次 5	290	学士 (工学)	1.03	1.14	-	平成22	同上	
ロボティクス&デザイン工学部	4	280	3年次 15	1,150	-	1.10	1.06	-	平成29	-	
ロボット工学科	4	90	3年次 5	370	学士 (工学)	1.11	1.07	-	平成29	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号	
システムデザイン工学科	4	90	3年次 5	370	学士 (工学)	1.07	0.96	-	平成29	同上	
空間デザイン学科	4	100	3年次 5	410	学士 (工学)	1.10	1.13	-	平成29	同上	
情報科学部	4	460	3年次 20	1,800	-	1.04	0.94	-	平成8	-	
データサイエンス学科	4	70	-	140	学士 (情報学)	0.98	0.95	令和3	令和3	大阪府枚方市北山 一丁目79番1号	令和3年度学科設置
情報知能学科	4	90	3年次 5	400	学士 (情報学)	1.04	1.00	-	平成8	同上	令和3年度定員変更 105→90 (△15)
情報システム学科	4	105	3年次 5	430	学士 (情報学)	1.03	0.95	-	平成8	同上	
情報メディア学科	4	105	3年次 5	430	学士 (情報学)	1.04	0.83	-	平成14	同上	
ネットワークデザイン学科	4	90	3年次 5	400	学士 (情報学)	1.09	0.98	-	平成19	同上	令和3年度定員変更 105→90 (△15)
知的財産学部	4	140	3年次 10	580	-	1.09	1.02	-	平成15	-	
知的財産学科	4	140	3年次 10	580	学士 (知的財産学)	1.09	1.02	-	平成15	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	
大学全体	-	1,780	3年次 85	7,210	-	-	-	-	-	-	



大学 の 名 称	大阪工業大学大学院						学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	4	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
工学研究科 博士前期課程	2	110	-	220	-	1.39	1.48	-	昭和40	-	
建築・都市デザイン工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	0.98	0.96	-	平成29	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	
電気電子・機械工学専攻	2	50	-	100	修士 (工学)	1.56	1.72	-	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.53	1.60	-	平成29	同上	
工学研究科 博士後期課程	3	6	-	18	-	0.49	0.16	-	昭和42	-	
都市デザイン工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	昭和42	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	平成29年度学生募集停止 令和4年5月廃止予定
生体医工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成19	同上	平成29年度 学生募集停止
電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	昭和42	同上	平成29年度 学生募集停止
建築・都市デザイン工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.33	0.00	-	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.33	0.00	-	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.83	0.50	-	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究 科 博士前期課程	2	30	-	60	-	1.44	1.36	-	平成29	-	
ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.44	1.36	-	平成29	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学研究 科 博士後期課程	3	2	-	6	-	0.33	0.00	-	平成29	-	
ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.33	0.00	-	平成29	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号	
情報科学研究科 博士前期課程	2	40	-	80	-	0.98	0.77	-	平成12	-	
情報科学専攻	2	40	-	80	修士 (情報学)	0.98	0.77	-	平成12	大阪府枚方市北山 一丁目79番1号	
情報科学研究科 博士後期課程	3	5	-	15	-	0.13	0.40	-	平成14	-	
情報科学専攻	3	5	-	15	博士 (情報学)	0.13	0.40	-	平成14	大阪府枚方市北山 一丁目79番1号	
知的財産研究科 専門職学位課程	2	30	-	60	-	1.31	1.40	-	平成17	-	
知的財産専攻	2	30	-	60	知的財産修士 (専門職)	1.31	1.40	-	平成17	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	
大学院全体	-	223	-	459	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	摂南大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
理工学部	4	585	3年次 30	2,230	-	1.01	1.07	-	昭和50	-	
生命科学科	4	105	3年次 5	400	学士 (理学)	0.90	0.80	令和3	平成22	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	令和3年度定員変更 90→105 (15)
住環境デザイン学科	4	85	3年次 5	320	学士 (工学)	1.03	1.14	令和3	平成22	同上	令和3年度定員変更 70→85 (15)
建築学科	4	80	3年次 5	310	学士 (工学)	1.05	1.11	令和3	昭和50	同上	令和3年度定員変更 70→80 (10)
機械工学科	4	130	3年次 5	490	学士 (工学)	1.03	1.16	令和3	昭和50	同上	令和3年度定員変更 110→130 (20)
電気電子工学科	4	105	3年次 5	400	学士 (工学)	1.06	1.10	令和3	昭和50	同上	令和3年度定員変更 90→105 (15)
都市環境工学科	4	80	3年次 5	310	学士 (工学)	0.98	1.15	令和3	平成22	同上	令和3年度定員変更 70→80 (10)
外国語学部	4	-	3年次 5	670	-	-	-	-	昭和57	-	
外国語学科	4	-	3年次 5	670	学士 (文学)	-	-	-	昭和57	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	令和4年度学生募集停止 令和6年度3年次編入学学生募集 停止
経営学部	4	280	3年次 8	1,106	-	1.02	1.15	-	昭和57	-	
経営学科	4	280	3年次 6	798	学士 (経営学)	1.02	1.15	令和4	平成18	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	令和4年度定員変更 170→280 (110) 令和6年度編入学定員変更 4→6 (2)
経営情報学科	4	-	3年次 4	308	学士 (経営学)	-	-	-	昭和57	同上	令和4年度学生募集停止 令和6年度3年次編入学学生募集 停止
薬学部	6	220	-	1,320	-	1.05	1.12	-	平成18	-	
薬学科 (6年制)	6	220	-	1,320	学士 (薬学)	1.05	1.12	-	平成18	大阪府枚方市長尾畔町 45番1号	
法学部	4	280	3年次 5	1,070	-	1.02	1.09	-	昭和63	-	
法律学科	4	280	3年次 5	1,070	学士 (法学)	1.02	1.09	令和3	昭和63	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	令和3年度定員変更 250→280 (30)
経済学部	4	280	3年次 4	1,068	-	1.04	1.07	-	平成22	-	
経済学科	4	280	3年次 4	1,068	学士 (経済学)	1.04	1.07	令和3	平成22	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	令和3年度定員変更 250→280 (30)
看護学部	4	100	-	400	-	1.02	0.99	-	平成24	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.02	0.99	-	平成24	大阪府枚方市長尾畔町 45番1号	
農学部	4	340	-	1,020	-	0.98	1.13	令和2	令和2	-	令和2年度学部設置
農業生産学科	4	80	-	240	学士 (農学)	0.90	0.95	令和2	令和2	大阪府枚方市長尾畔町 45番1号	
応用生物科学科	4	80	-	240	学士 (農学)	0.95	1.12	令和2	令和2	同上	
食品栄養学科	4	80	-	240	学士 (農学)	0.97	1.22	令和2	令和2	同上	
食農ビジネス学科	4	100	-	300	学士 (農学)	1.09	1.22	令和2	令和2	同上	
国際学部	4	250	3年次 5	250	-	1.04	1.04	令和4	令和4	-	令和4年度学部設置
国際学科	4	250	3年次 5	250	学士 (文学)	1.04	1.04	令和4	令和4	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	(3年次編入学定員は令和6年 度より入学)
大学全体	-	2,335	3年次 52	9,134	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	摂南大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	
薬学研究科 博士課程	4	4	-	16	-	0.68	0.75	-	平成24	-
医療薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.68	0.75	-	平成24	大阪府枚方市長尾峠町 45番1号
理工学研究科 博士前期課程	2	34	-	68	-	1.26	0.97	-	平成元	-
社会開発工学専攻	2	12	-	24	修士 (工学)	1.33	1.00	-	平成元	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
生産開発工学専攻	2	12	-	24	修士 (工学)	0.99	0.66	-	平成26	同上
生命科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.50	1.30	-	平成26	同上
理工学研究科 博士後期課程	3	4	-	12	-	0.58	0.00	-	平成20	-
創生工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.16	0.00	-	平成20	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
生命科学専攻	3	2	-	6	博士 (理学)	1.00	0.00	-	平成28	同上
経済経営学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	0.25	0.40	-	平成26	-
経済学専攻	2	5	-	10	修士 (経済学)	0.20	0.20	-	平成26	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
経営学専攻	2	5	-	10	修士 (経営学)	0.30	0.60	-	平成26	同上
法学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.00	0.00	-	平成9	-
法律学専攻	2	5	-	10	修士 (法学)	0.00	0.00	-	平成9	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
国際言語文化研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.00	0.00	-	平成11	-
国際言語文化専攻	2	5	-	10	修士 (文学)	0.00	0.00	-	平成11	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
看護学研究科 修士課程	2	6	-	12	-	0.49	0.33	-	平成28	-
看護学専攻	2	6	-	12	修士 (看護学)	0.49	0.33	-	平成28	大阪府枚方市長尾峠町 45番1号
大学院全体	-	68	-	148	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の実施計画																								
認 可 時 (令和31年)	該当なし																										
設置計画履行状況  調 査 結 果 (令和2年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科)	指摘事項 (改善)  ○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について  ・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科] <table border="1"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> </tbody> </table> 医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。 具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。 その結果、2021年度の入学定員充足率は0.63倍と改善傾向にある。今後も継続した広報活動を実施し、適正な学生獲得に努める。	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	履行済  該当なし						
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)																						
令和2年度	100	202	184	49	0.49																						
令和3年度	100	196	176	63	0.63																						
設置計画履行状況  調 査 結 果 (令和3年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科)	指摘事項 (改善)  ○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について  ・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科] <table border="1"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>100</td> <td>107</td> <td>96</td> <td>59</td> <td>0.59</td> </tr> </tbody> </table> 医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。 具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。 2022年度の入学定員充足率は0.59倍と前年度より若干の減少となった。コロナ禍の中、留学生の確保が困難な状況であったが、今後も継続した広報活動を実施し、適正な学生獲得に努める。	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	令和4年度	100	107	96	59	0.59	履行済  該当なし
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)																						
令和2年度	100	202	184	49	0.49																						
令和3年度	100	196	176	63	0.63																						
令和4年度	100	107	96	59	0.59																						

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<健康科学部 医療福祉学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	-

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成16年度から教員の教育力向上を推進するために「広島国際大学FD委員会」を設置した。広島国際大学FD委員会には6つのワーキンググループ（調査活動WG、広報活動WG、セミナー運営WG、授業公開WG、ICT活用教育推進WG、研修会運営WG）を設け、懸案事項やFD活動について具体的に審議し実践しており、令和4年度においてもこれらの活動を継続していく。なお、当委員会では、大学院を含む全学的な内容について対応している。（「広島国際大学FD委員会規定」については、別紙資料のとおり）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 広島国際大学FD委員会は年8回程度の頻度で開催し、各WGの活動は随時行っている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生に対する受講生満足度調査アンケートの実施及び結果の分析ならびに顕彰とフィードバック</li> <li>2. FD研修会・FD講演会など、授業改善のための情報の共有や提供</li> <li>3. FDに関する広報誌としての「FD newsletter」発行（年1回）</li> <li>4. FD活動報告冊子の発行（隔年）</li> <li>5. 教員相互の授業公開など、授業改善のための諸方策の検討・実施等への取り組み</li> <li>6. ICT活用教育の広報・研修など、ICTを活用した授業の情報提供</li> </ol> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受講生満足度調査</li> <li>2. FD講演会</li> <li>3. FD研修会</li> <li>4. FD newsletterの発行</li> <li>5. FD活動報告冊子の発行</li> <li>6. 授業公開</li> <li>7. ICT関連技術の利用方法の周知や、情報教育の整備</li> </ol> <p>b 実施方法 実施内容のそれぞれを担当するワーキンググループが、それぞれ企画・運営を行う。Eメール・会議での報告・掲示等により教職員に周知し、できるだけ多くの教職員が参加できるように配慮している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況を含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受講生満足度調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期 令和3年 5月～8月</li> <li>・後期 令和3年10月～令和4年2月</li> </ul> </li> <li>・全科目調査することとしている。（一部特別開講や旧カリキュラムで受講者が若干名の科目は除外）</li> </ol>
--

## 2. FD講演会の開催

- ・日時：令和3年9月6日（月）13：00～14：30
- ・テーマ：「アクティブ・ラーニング」再発見！～実践例を通して、その真価に迫る～
- ・参加者数：70名
  
- ・日時：令和4年2月22日（火）15：30～17：00
- ・テーマ：「トランジションを見据えたアクティブ・ラーニング型授業への転換～何がポイントか～」
- ・参加者数：86名

## 3. FD研修会の開催

- ・日時：令和3年9月3日（金）10：00～12：00
  - ・テーマ：「到達目標の書き方」研修会
  - ・対象：全教職員
  - ・参加人数：23名
  
  - ・日時：令和3年9月3日（金）13：00～15：00
  - ・テーマ：「成績評価の方法：ルーブリック活用」研修会
  - ・対象：全教職員
  - ・参加人数：10名
  
  - ・日時：令和3年9月8日（水）10：30～12：00
  - ・テーマ：「コースポートフォリオ作成」研修会
  - ・対象：全教職員
  - ・参加人数：12名
  
  - ・日時：1) 令和4年3月2日（水）9：30～12：00  
2) 令和4年3月16日（水）10：00～11：30
  - ・テーマ：「コースポートフォリオ発表会」
  - ・対象：コースポートフォリオ作成研修会参加者
  - ・参加人数：12名
  
  - ・日時：令和4年3月4日（金）10：00～12：00
  - ・テーマ：アサーション研修会
  - ・対象：全教職員
  - ・参加人数：21名
  
  - ・日時：令和4年3月4日（金）14：00～16：00
  - ・テーマ：相互理解を深めるコミュニケーション「積極的傾聴」研修会
  - ・対象：全教職員
  - ・参加人数：14名
  
  - ・日時：1) 令和4年3月8日（火）13：30～16：00  
2) 令和4年3月10日（木）13：30～16：00
  - ・テーマ：マイクロティーチング研修会
  - ・対象：全職教員
  - ・参加人数：11名
  
  - ・日時：令和4年3月16日（水）13：00～14：00
  - ・テーマ：Course Power利用研修会
  - ・対象：全教職員
  - ・参加人数：34名
- ## 4. FD newsletterの発行
- ・年1回発行（令和4年3月に発行）
  - ・全教員と各事務部署に配布

5. 授業公開

- ・前期 令和3年5月  
授業公開数：131科目、聴講者数：214名
- ・後期 令和3年10月～11月  
授業公開数：117科目、聴講者数：194名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開を実施することにより、他の教員の授業を見学することで質の高い授業を行うための講義手法等の情報共有を  
するよう努めている。今後もこれまでの活動を基によりよいFD活動を目指す体制づくりを進めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 年2回（前期・後期）実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は学長、FD委員会委員長、学部長、各授業担当者への報告のみとしている。各授業担当者は担当授業の集計結  
果に対するレスポンスシート（1. 教員へのアンケート、2. 学生へのフィードバック）を提出し、「教員へのアン  
ケート」は集計結果を教員へ、「学生へのフィードバック」は学内掲示により学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし



#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「健康科学部」は、少子高齢化の進展、疾病構造の変化等により、健康増進を形成する基本要素となる「交流、休養、栄養・食生活」等の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善の需要が高まっていることを背景に設置したのもであり、4つの学科で構成している。

「医療福祉学科」では、社会福祉に関する専門知識と技術を幅広く修得し、豊かな人間性を土台として、専門的知識・技術を用いて、様々な生活上の問題を抱える人々に寄り添いながら、地域生活を支援できる人材を養成する。

「医療経営学科」では、医療マインドを有した経営スキルをもって、多角的に医療や健康を検討できる「医療経営」人材を育成し、多くの専門職からなる医療組織を効果的に束ねて、効率的な医療提供を医療機関において貢献する医療マネジメントスタッフの養成を行う。

「心理学科」では、心理学の専門知識とコミュニケーション技術を生かし、自らの立場、状況、対象などの客観的なアセスメントに基づき、課題を見出し、課題の解決のために積極的に行動する人材を養成する。

「医療栄養学科」では、人々の健康の維持、病気の予防・改善のため、栄養と食の力を活用し、地域社会の健康・医療・福祉に貢献できる管理栄養士を養成する。

これらの目的を達成するため以下の取り組みを行っている。

##### 1. 入学者確保

学生募集活動では、学科紹介パンフレット作成、ホームページ内容の充実、大学見学会の実施や業者主催の入試説明会への参加、高校等へ積極的に広報を展開し、教育内容とアドミッションポリシーの浸透を行った。

その結果、263名が入学した。今後も引き続き、定員充足にむけた各種改善策の取組みに加えて、学生募集戦略の一層の強化による学生確保に努めることとする。

##### 2. 初年次教育

大学における新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先として、一部オンデマンド（オンライン）授業を活用した。授業実施にあたっては、自律的な学修や、学生一人ひとりに応じたきめ細かな教育が提供できるよう、設問解答、添削指導、質疑応答等の指導を十分に行うことに留意した。

##### 3. 新任教員オリエンテーション

令和4年4月に着任した教員に対し、本学の方針、ビジョン（中長期目標・計画等）、人材養成の理念、学生支援や事務手続等について研修を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先として、研修の一部をオンデマンドで行い、各自視聴できる体制を築き対面での時間を短縮して実施した。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和4年4月 公表

###### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

<https://www.hirokoku-u.ac.jp/profile/disclosure/valuation/jikoten.html>

##### ③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## ○広島国際大学FD委員会規定

2004年4月2日

広学内117

## (目的)

第1条 広島国際大学において教育力向上(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という)を推進するため、広島国際大学FD委員会(以下「委員会」という)を設置する。

## (構成)

第2条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

イ 各学部設置各学科の教授、准教授、講師および助教の中から学部長の推薦により学長が任命した者 各学科1名

ロ 教育・学生支援機構課長

ハ その他必要に応じて教育・学生支援機構長の推薦により学長が任命した者 若干名

2 委員の委嘱および解嘱は、委員会の意見を聴いて、学長が行う。

## (委員の任期)

第3条 前条第1項ロ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条第1項イ号およびハ号の委員の任期は、2年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

## (審議事項)

第4条 委員会は、FDの推進に関するつぎの事項を審議する。

イ FDの実現を図るための、各種セミナー等の企画および実施に関すること

ロ FDを推進し、全職員間の相互理解を促進するためのニューズレターの発行

ハ FDプログラムの開発

ニ 「学生による授業アンケート」等の実施および結果の分析

ホ 授業改善のための方策の検討

ヘ その他FDに関する必要なこと

## (委員長、副委員長およびその職務)

第5条 委員会に委員長および副委員長を置く。

2 委員長および副委員長は、委員の中から教育・学生支援機構長の意見を聴いて、学長が任命する。

3 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

## (委員以外の出席)

第6条 委員会には、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

## (小委員会)

第7条 委員会は、必要に応じて、小委員会を設けることができる。

2 小委員会の委員長および委員は、委員の中から委員長が指名する。ただし、必要に応じて委員以外の者を加えることができる。

3 小委員会では、委員会から付託された事項について審議する。

## (定足数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

## (学長への報告)

第9条 委員長は、審議の経過および結果について速やかに教育・学生支援機構長を経て、学長に報告しなければならない。

## (委員会の庶務)

第10条 議事録の作成および保管を含め、委員会の庶務は、教育・学生支援機構で取り扱う。

## (規定の改廃)

第11条 この規定の改廃は、委員会および大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長が行う。

## 付 則

1 この規定は、2004年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2021年4月19日から施行し、2021年4月1日から適用する。